



議会だより



日本発祥地まつり

もくじ

- 3月定例会のあらまし・・・P2～P5
- 一般質問・・・・・・・・・・P6～P9
- 高原町健康づくり推進条例・・・P11
- 茶飲み場紹介・・・・・・・・・・P12



町鳥・仏法僧
フッコウソウ



町花・みやまきりしま



町木・たちばな

■発行/高原町議会
 ■編集/議会だより編集委員会
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138
 ■発行日 平成31年4月15日



the most beautiful
villages
in japan

3月定例会

あらまし

平成31年3月定例会は、3月6日から3月22日までの17日間の日程で開催されました。

今議会には、同意(人事案件)4件、補正予算6件、条例関係(議員発議含)8件、その他16件そして、平成31年度一般会計予算及び特別会計予算5件、公営企業会計予算3件の計9件の予算が上程され、それぞれの常任委員会で審議が行われ原案通り同意、可決されました。

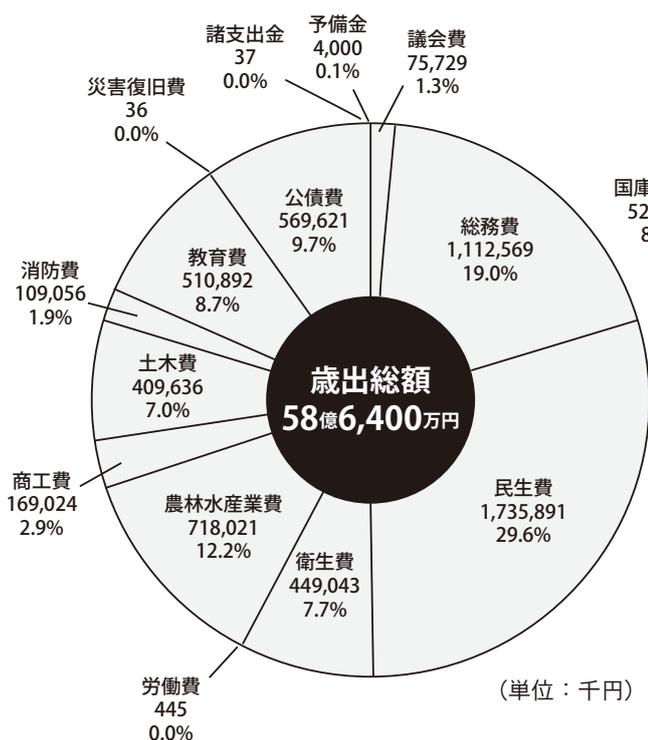
平成31年度一般会計予算

58億6,400万円

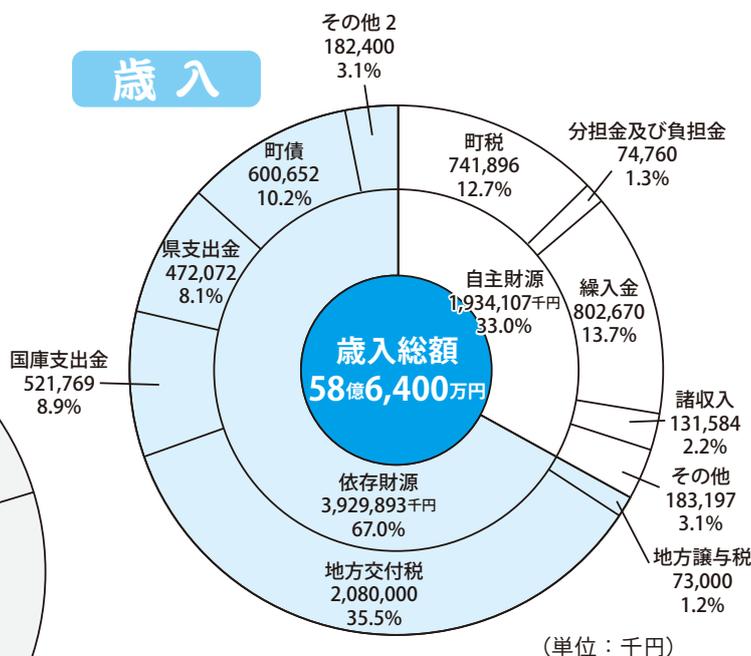
平成31年度一般会計当初予算の歳入歳出の規模は、58億6,400万円で、前年度比3億2,200万円(5.8%)の増となっています。

新規事業の主なものとして、病児保育事業、本町4号線や祓川旭台線をはじめとする道路補修工事や佐土橋などの橋梁補修設計、児童公園遊具整備事業、消防ポンプ自動車購入事業(第3部)、防火水槽新設事業、MCA無線購入事業、後川内小学校体育館屋根改修工事、並木地区公民館新築工事及び施工監理、町民体育館分館耐震診断及び活用実施計画策定事業など70事業が計上されています。

歳出



歳入



平成31年度 一般会計当初予算の重要施策の概要 (主な事業のみ掲載)

(1) 「町民の誰もが住み続けながら、豊かさと幸せを実感できる町づくり」事業の着実な推進

① 農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

- ◆ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [1億2,000万円]
- ◆中山間地域等直接支払交付金事業・・・・・・・・・・・・ [4,859万円]
- ◆農業次世代人材投資事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [300万円]
- ◆集落営農法人化促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [59万7千円]
- ◆たかはる農業人「財」確保支援事業・・・・・・・・・・・・ [300万円]
- ◆活かせ「生農地の水」園芸作物支援事業・・・・・・・・ [227万4千円]
- ◆たかはる園芸担い手応援サポート事業・・・・・・・・ [300万円]
- ◆県営畑地帯総合整備事業 鹿児山1、2、3期地区・・・・ [2,054万円]
- ◆県営畑地帯総合整備事業 後川内1、2期地区・・・・ [4,266万円]
- ◆高原町和牛ブランド確立対策事業など3事業・・・・ [1,012万5千円]
- ◆森林経営管理制度事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [300万円]
- ◆高原町再造林支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [108万円]
- ◆高原町地域雇用創造協議会・・・・・・・・・・・・ [44万5千円]

② 観光振興による交流人口の増

- ◆農家民泊事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [102万9千円]
- ◆御池キャンプ村通信機能向上事業・・・・・・・・・・・・ [32万3千円]
- ◆観光まちづくり御池魅力向上推進事業・・・・・・・・ [535万円]
- ◆JR吉都線高原駅周辺活性化事業
・・・・・・・・ [177万3千円]



▲高原駅



▲御池コテージ

③ 移住・定住の推進

- ◆都市圏PR事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [69万8千円]
- ◆地域おこし協力隊員設置事業・・・・・・・・・・・・ [800万円]
- ◆お試し滞在利用事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [15万4千円]
- ◆空き家バンク事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [137万4千円]
- ◆移住者フォローアップ事業・・・・・・・・・・・・ [10万円]

- ◆ふるさとワーキングホリデー事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [39万5千円]
- ◆移住・定住支援金事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [854万6千円]
- ◆定住促進住宅整備事業(広原地区2棟) ・・・・・・・・ [4,284万1千円]

④子育て支援

- ◆保育料等負担軽減事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [651万6千円]
- ◆地域子育て支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [336万円]
- ◆こども医療費助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [1,182万2千円]
- ◆児童生徒国際交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [300万円]
- ◆小・中学校給食費補助・・・・・・・・・・・・・・・・ [1,458万5千円]
- ◆高原町教育資金融資事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [2,450万円]

⑤ 高齢者支援

- ◆敬老会事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [174万円]
- ◆老人クラブ活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [126万8千円]
- ◆高齢者の生きがいと健康づくり事業(茶飲み場) ・・・・・・・・ [397万1千円]
- ◆白寿・米寿・喜寿の祝い事業
・・・・・・・・ [59万3千円]
- ◆介護支援専門員人材育成確保推進事業
・・・・・・・・ [20万円]



茶飲み場

⑥ 地域交通の充実

- ◆地域交通機関運行維持対策事業
(乗合タクシー・廃止路線代替バス) ・・・・・・・・ [919万1千円]
- ◆悠々パス購入補助金(65歳以上) ・・・・・・・・ [27万円]

⑦ 健康づくりと地域医療の充実

- ◆健康づくり推進活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [891万6千円]
- ◆健康増進事業(健康教育事業・健康診査事業・訪問指導事業) ・・・・ [1,450万2千円]
- ◆予防接種事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [2,741万5千円]
- ◆病院整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [1億1,323万1千円]
- ◆妊産婦健康診査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [528万6千円]

(2) 老朽化公共施設等の更新等の推進

- ◆鹿児島山団地屋根防水塗装工事・・・・・・・・・・・・・・・・ [397万5千円]
- ◆並木地区公民館新築工事及び施工管理・・・・・・・・・・・・ [5,473万5千円]
- ◆町民体育館分館耐震診断及び活用実施計画策定事業・・・・・・・・ [800万円]
- ◆公共施設検討委員会設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [9万円]



(3) 行財政改革推進事業

① 収納対策事業

- ◆コンビニエンスストア収納業務事業・・・・・・・・・・・・ [62万3千円]
- ◆収納率向上対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・ [98万5千円]

② 財政負担の縮減・合理化事業

- ◆公立保育所指定管理事業・・・・・・・・・・・・ [9,399万2千円]
- ◆町内小中学校用務員業務委託事業・・・・・・・・・・・・ [529万7千円]
- ◆学校給食調理業務委託事業・・・・・・・・・・・・ [3,664万4千円]

(千円)

区 分		平成31年度当初予算 (A)	平成30年度当初予算 (B)	比 較		
				増 減 額 (A) - (B)	増減率 (%)	
一 般 会 計		5,864,000	5,542,000	322,000	5.8	
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	1,152	1,000	152	15.2	
	農業集落排水事業	26,899	26,040	859	3.3	
	国民健康保険	1,596,872	1,445,961	150,911	△10.4	
	介護保険事業	保険勘定	1,317,712	1,248,207	69,505	5.6
		サービス勘定	4,798	4,249	549	12.9
	後期高齢者医療	309,289	310,166	△877	△0.3	
企 業 会 計	水道事業会計	308,990	317,530	△8,540	△2.7	
	病院事業会計	1,134,911	1,127,818	7,093	0.6	
	工業用水道事業会計	2,096	2,096	0	0.0	
総 計		10,566,719	10,025,067	541,652	5.4	

※企業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額



一般質問

町の考えを問う

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたたくこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

公共施設内の受動喫煙防止対策について



温谷 文雄 議員

問 健康増進法が一部改正され、今年の7月から、役場庁舎や学校や病院などの公共施設内や敷地では喫煙はできなくなる。町はどのような受動喫煙防止策をとられるか。

答 役場庁舎、病院、ほほえみ館、中央公民館については、周知を図りながら7月1日から建物や敷地内禁煙を実施する。

問 高原町では、上麓区、下麓区だけ公民館がない。自治会の活動拠点として公

民館が欲しいとの声を聞いたが、町は両区の自治会活動をどのように考えているのか。

答 自治会活動を行う上で、活動拠点の必要性は十分認識している。今後公民館建設に必要な土地の確保等を含め、両区の区民の意思を確かめながら、施設整備について検討したいと考えている。

問 各区の公民館にWi-Fiの施設があれば、自治会の活動は更に活性化すると思うが町の考えは。

答 各区の公民館Wi-Fi整備は、自治会活動において有効であると思うが各公民館への整備は多額の費用が見込まれる。今後、地域の活性化に結びつけられ、効果的な手段について調査

研究する。

問 昨年末、改正水道法が成立。老朽化した水道管維持補修や人口減による給水減少の為、運営の広域化やコンセッション方式（水道の所有権を自治体に保有させたまま、運営権を民間企業に一定期間委託することです）による水道事業の運営を民間ができるようになったが町の考えを伺いたい。

答 毎年、人口減少はあるものの家畜等の水需要もあり、大幅には減少していない。水道事業の財政もいまのところ健全性を維持している。今後広域化による運営の議論は必要と考える。コンセッション方式の民間委託は、不透明なことから本町ではないものと考えている。



▶上町4丁目 外での総会の様子

病院の早期経営改善を！



陣 圭介 議員

○行財政改革の推進を！

問 平成31年度の予算編成において、行財政改革という観点から具体的にどのような点を重視し、事業の適正化に臨んだか？

答 厳しい状況の中、これまでの成果・効果を検証し、緊急性の高いものや住民生活に関わりの深いもの、公約に掲げる施策を重点的に予算配分した。結果、補助目的の達成した事業の廃止やイベント、補助団体への補助金を約3千万円、縮減・廃止を図った。財源確保の面においては、地方創生

交付金の活用や、交付税措置のある優位な地方債の活用を図り、予算編成を行ってきた。

○町民の利便性向上を！

問 フレックスタイム制の導入について、現時点における当局の考え方は？

答 働き方改革が進む中、窓口業務対応を始め、住民の利便性向上を含めた職員の勤務時間の柔軟化については、引き続き調査検証し、検討していく。

○役場庁舎の今後について

問 役場庁舎について、耐震化工事の可否は？

答 アスベスト含有建材は、庁舎内の執務室ほぼ全てに使用されており、執務室を使用しながら改修を行うことは不可能であり、今後、公共施設等整備検討委員会

や住民等を含めた公共施設等の在り方を検討する委員会等に諮りながら、方針を決定していく。



○病院の早期経営改善を！

問 一般会計から多額の繰り入れをしなければならぬ状況。病院事業の経営改善は、職員の意識改革から始まると考える。意識の共有という点でどのように取り組んだか？

答 「地域住民の希望に込められる病院」を目指し、医局会議で諸問題について把握に努め、経営改善へ向けた対策等、意識の共有を

図った。その内容は、管理職で共有した上で各部署に文書等で展開し、諸問題の解決に努めてきた。

問 町長は、病院の現状把握について随時できていたか？

答 経営状況も含めて、院長、事務職、医師にヒアリングし、現状把握に努めてきた。

問 病院がどのような実態か、現場を見たかという意味での現状把握は？

答 現場には、調査という目的では行っていない。

○学力水準の底上げを！

問 中学生の学力水準を底上げするために必要な教育について、教育長の考えは？

答 学力向上の基盤は、教師の授業力の向上であると考えている。「一貫教育の知育部会」や「教育研究所」、「各学校の研究」をリンクさせ、指導方法について、町全体で共通理解を図り、同じベクトルで学力向上に

努めており、また、教師一人一人の授業改善を図る指導も行っており、授業時間内に学習内容の定着を図る授業改善が実現してきている。家庭との連携も図りながら、各種学力テストの結果分析や児童・生徒一人一人の学びの確認を生かした学力向上に努めてまいりたい。

○指定管理者制度について

問 観光拠点2箇所につき、指定管理者の選定手続きを公募に変更した経緯と目的は？

答 観光協会から、高原町の観光振興並びにPR等に重点的に力を注ぎたいとの意向を伺っていた。これまでに以上に民間のノウハウを活用した運営や管理、コストの縮減、新たな発想をより広く募集し、さらに魅力あるものとして、町民をはじめ多くのお客様に利用していただくために公募という方法をとった。





役場職員の障害者雇用を



中村 昇 議員

問 障害者雇用促進法では、事業主に対して常時雇用する従業員的一定割合（法定雇用率）を公的機関では2・5%以上の障害者雇用を義務づけている。本町は県内で最低の1・05%で未達成である。どのように解消するのか。

答 今後はハローワーク等の連携を行いながら、早急に障害者雇用の確保に努める。

○介護保険の「生活援助」制限の影響は

問 安倍自民・公明政権は介護保険の保険料を2000年の創設時の2倍に値上げする一方、保険給付を連続して切り捨てている。昨年10月には、ホームヘルパーが掃除などを行う「生活援助」につき、おおむね1日1回以上の利用に事実上の制限をかけた。生活援助は在宅介護の生命線であり、回数が減ると病状悪化が十分予測される。本町での影響は。

答 現在のところ、ケアマネから利用回数を越えた届出はない。

問 健康づくりについて

問 健康推進モデル事業4年間の総括と今後の取り組みは。

答 4年間で12地区3団体を対象に延べ919人の参加があり、「自分の生活習慣を見直す機会となった」などの意見も寄せられ、一定の成果があったと考える。さらに、がん検診などの事業にも地区担当制の導入を検討する。

○防災対策について

問 過去の災害の教訓を踏まえると、行政による対応のみでは被災者の救助などに限界がある。自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織である。町は組織づくりにどう支援するのか。

答 昨年の「自主防災組織

防災力強化研修会」において地域の主体的な活動として自主防災組織の結成・運営されることが望ましいと説明した。今後は地域リーダーの養成を見据え、講座や研修会を計画していきたい。



▶自主防災組織
防災力強化研修会

○通学路の安全確保を

問 安全対策が必要な通学路のブロック塀の状況は。

答 高原小校区 199ヶ所、広原小校区 17ヶ所、狭野小校区 31ヶ所、後川内小校区 15ヶ所。合計262ヶ所。

問 通学路に街頭も防犯灯もなく暗い道を下校しなければならず、交通事故や防犯上も心配する声が寄せられている。

答 今回の通学路も含めて調査を行い、その対策に努める。





IT環境整備で格差解消を！



益本 一博 議員

○IT環境改善と活用について

問 社会はAIの時代だ。都市との格差は広がっている。現状をどうとらえているか。

答 最近、光ケーブル網が全国的に普及し、情報通信の速さで都市部との格差が広がっている。次世代通信5G、AIなどの技術革新による新世代が来ている。

問 これからの情報通信は、質・量とスピードが重要。光ケーブルによるネットワーク整備の計画はないか。

答 光ケーブル網整備の取

組を進める。

問 IT環境整備の地方都市では、IT関連企業の誘致がある。誘致活動を強化する計画はないか。

答 空き家・空き店舗等の有効活用も考慮する。

問 個人でIT・AI関連の仕事を持つ人をターゲットにした移住対策の考えはないか。

答 先進地の事例を研究し検討する。

問 ケーブルテレビの付加価値を増やす計画はないか。

答 BTVとは日ごろから情報交換しており、付加価値も検討する。

問 来年度より、「プログ

ラミング教育」が必修となる。IT教育に対しての考え方は。

答 IT教育のメリットは、視覚化や他校の児童生徒との交流ができ、授業の幅が広がる。また、教員の負担軽減になる。デメリットは、機器導入に経費がかかり、教員のスキルアップが必要。

問 児童生徒の国語力が低下している。プログラミング教育よりも、国語の読解力の向上を優先すべきだ。どのように考えるか。

答 社会生活をする上で国語の読解力は大切。論理的思考力を身に付ける「プログラミング教育」も必要。どちらも進めていく。

問 町内の遺跡発掘で多くの出土品が出てきた。過去にも日守や川路山の遺跡から、土器と刀剣類が出土した。出土品の管理・保管・活用をどう考えるか。

答 刀剣の保存処理を西都原考古博物館に委託している。

問 土器類は放置されている。保存・管理・展示をどう考えているか。

答 保管展示場所、展示ケースがない。

問 「神武の館」や「郷土資料館」は来訪者がなく、活用が不十分。遺跡発掘物を収納・展示する等の有効活用は考えられないか。

答 日本遺産登録事業もあり、今後の活用・整備を検討する。

問 町内施設を利用して多くの方が鑑賞できる展示会等を企画する考えはないか。

答 現場説明会や秋まつりで調査の成果を町民に提供している。埋蔵文化財の情報発信に努め、文化財啓発を検討する。

由で、公共施設を創っていないか、町に必要な施設なのか、維持管理・運営について再検討すべきでは。

問 町内の史跡の案内看板が傷んで読みづらい。改修する計画はないか。

答 調査し、対応を検討する。

問 史跡・文化財への案内板がない。設置の計画はないか。

答 他市町村の事例を研究し、対応する。

問 町内施設を利用して多くの方が鑑賞できる展示会等を企画する考えはないか。

答 現場説明会や秋まつりで調査の成果を町民に提供している。埋蔵文化財の情報発信に努め、文化財啓発を検討する。

問 補助金があるという理

由で、公共施設を創っていないか、町に必要な施設なのか、維持管理・運営について再検討すべきでは。

問 町内の史跡の案内看板が傷んで読みづらい。改修する計画はないか。

答 調査し、対応を検討する。

問 史跡・文化財への案内板がない。設置の計画はないか。

答 他市町村の事例を研究し、対応する。



神武の館

平成31年 第1回定例会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	① 益本一博	② 松元茂春	③ 北迫泉	④ 中村昇	⑤ 温谷文雄	⑥ 反田吉巳	⑦ 入佐廣登	⑧ 陣圭介	⑨ 清水公雄	⑩ 宮司勲
同意第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
同意第2.3.4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第1号	高原町児童プール及び児童遊園の設置並びに管理運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第2号	平成30年度高原町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
議案第3号	平成30年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	平成30年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第5号	平成30年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第6号	平成30年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第7号	平成30年度高原町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第8号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第9号	高原町手話言語条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号	高原町森林環境譲与税基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第11号	指定管理者の指定について(高原町林業野外活動施設・高原町皇子原公園・高原町御池キャンプ村)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第12.13.14.15号	指定管理者の指定について(集会施設・農村広場施設・研修集会施設・多目的活性化広場施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第16号	指定管理者の指定について(養護老人ホーム峰寿園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第17号	指定管理者の指定について(高原町高齢者工芸センター)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第18号	指定管理者の指定について(並木児童館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第19.20号	指定管理者の指定について(簡易給水施設)(営農飲雑用水施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第21.22号	町道の廃止・認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
議案第23号	平成31年度高原町一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第24号	平成31年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	平成31年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	平成31年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	○	-
議案第27号	平成31年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第28号	平成31年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第29号	平成31年度高原町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	平成31年度高原町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	平成31年度高原町工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第1号	高原町議会事務局設置条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第2号	高原町議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第3号	高原町議会傍聴規則の一部を改正する規則(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第4号	議会の委任による町長専決処分事項の指定についての一部改正について(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第5号	高原町水道事業の設置等に関する条例及び病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第6号	高原町健康づくり推進条例(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第7号	高原町活性化対策特別委員会の廃止に関する決議(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

健康づくり推進条例を制定しました

本町議会においては、高原町が将来にわたり、魅力的で活力にあふれる「まち」として持続していけるよう、平成27年第4回定例会にて「高原町活性化対策特別委員会」を設置し、これまで調査研究を進めてきました。

町民が健康であることが、まちづくりの基本と考えて、平成31年第1回定例会にて「高原町健康づくり推進条例」を議員発議で上程し可決しました。

背景等

現在、町民の平均寿命や健康寿命は男女とも全国及び県平均を下回る結果になっています。このほか、主要死因であるがん・心疾患、脳血管疾患の割合も全国及び県と比較すると死亡率が高くなっています。

さらに、健診データによると、男女とも生活習慣病の発症リスクを示す平均血糖値と尿酸の値が高く、また、メタボの該当者が男性で増えてきています。

この様な中、健康づくりは、町民一人ひとりが自らの問題であることを自覚し、主体的にかつ地域全体で推進することを基本理念とし、全ての町民が健やかで心豊かに生活することができる地域社会を実現するために条例を制定するものです。

これまでの経緯

- 平成27年に新潟県見附市を行政調査 「歩こう条例を制定など」
- 平成29年1月18日医療費適正化に向けた具体的取組について担当保健師から説明を受ける
- 平成30年2月7日 先進地調査「川南町生き生き健康づくり条例」
- 健康づくり条例制定に向けた住民アンケートを実施
平成30年5月18日～6月8日 600通を発送、227通（37.8%）の回答
（主な内容）日常的に運動をほとんどしていない・・・37.4%
健康診断を受けていない人・・・19.8%
健康条例の制定が必要と思う人・・・8割弱など
- 平成30年8月8日 先進地調査「鹿屋市健康づくり条例」
※約20回の委員会を開催し、条例内容の検討などを行う
- 平成31年1月25日 関係課（6課）との意見交換会
- 平成31年1月28日 町長へ条例内容等の説明
- 平成31年2月1日～28日 パブリックコメントの実施
- 平成31年2月18日 関係団体との意見交換会
- 平成31年第1回定例会（3月）にて上程・可決（平成31年4月1日より施行）



アンケートの回答結果や意見交換会での意見等については、条例制定に反映しました。ご協力ありがとうございました。



▲関係団体との意見交換会



茶飲み場

シリーズ⑧



いつも大勢の参加でにぎわう
料理・茶菓子をつまみ はずむ会話

下広原地区茶飲み場



下広原地区の茶飲み場は、月に2回開催され、前日の昼からご飯の仕込みが始まります。野菜は買わずともほとんど参加者の持ち込みによるものだそうです。

7月には県道沿いの草刈り後、70名もの方々が集まってカレーを食べるのが恒例のこと。「炊事の方々がいらつしやるから続けられる。きちんと役割分担できていて、動きに無駄がない。」との声。

一方では、「若い人が来ると次へつなげていけるが、働く方が多いのでなかなか足が向いてくれない。」との声も。

話に花が咲き、お茶が冷えると、温かいお茶にいかかえていただく配慮もあり、ホットした時間でした。

お伺いした日は、一日遅れの節分として、みなさんで大きな恵方巻を頬張りました。(お土産にもいただきました。)

後川内地区茶飲み場



後川内地区には、2つのグループ(ゲートボールとランドゴルフ)が活動されています。

今日はゲートボールのグループの人たちが茶飲み場を開催しています。16名参加しての楽しいひとときであります。最高齢者91歳を中心にゲートボールをされている皆さんの姿は年齢を感じさせないパワーあふれるプレーを展開されています。

世話人の民生委員さんを囲み、それぞれ家庭よりお茶菓子や漬物などを持ち寄り休憩時間にはたき火を囲んで昔話や世間話など、楽しい雰囲気の中で時間が過ぎていくのを忘れるくらい深い絆で結ばれています。

毎月2回開催される茶飲み場の開催が待ち遠しいようです。

編集後記

◇現議員構成による最後の定例会が終了いたしました。各議員さん方におかれては、それぞれの立場で4年間活動されました。まずはおつかれ様でした。◇地方創生の流れが本格化するなど、この4年間は国も地方も大きな変革を遂げ、その対応に追われた期間でしたが、今後ますます住民ニーズが多様化していく中で、地方の「自治」の重要度はより一層高まることが予測されます。議会の責任も時代に合わせた変革が求められていくものと考えます。◇従来の議会報告会に加え、今期、町議会ではインターネット中継が開始され、情報公開という点で前進いたしました。住民に開かれた議会となるよう、今後更なる努力が期待されます。◇現編集委員会委員による広報誌発行も今回が最後となりました。町民の皆さんにできるだけ分かりやすい紙面の編集に努めて参りましたが、いかがだったでしょうか。

(陣 圭介 筆)